

40号は総集編。引き続き、ご指導ご支援いただき、よろしくお願いします。

豊中らしさを創る

無所属 34歳

豊中市議会議員



駅前・街角での3秒間の出会いを、無限大の関係に！日々の活動などはホームページで。

まつおかあきみち

松岡信道と、もっと豊中市！



市民のみなさんとスクラム、旧態依然としたしがらみにタックル、温故創新でトライ！を合言葉にゴールに向かって走ります。

選挙は4年間の委任状争奪戦

投票で私たちの将来を選択する

かつて豊中市は、日本屈指の豊中グランドや東洋一の競輪場がつくられ、大阪国際空港は世界の玄関口となり、万博にあわせて日本初のニュータウンが建設されました。TOYONAKA CITYとして世界に名を知られることとなり、人口は毎年一人ずつ増加しました。しかし、現在の豊中市はその栄華を見る影もありません。競輪場は廃止され、国際線も廃止され、高齢化率が深刻な町になってしまいました。このような将来を誰が想像したのでしょうか。

選択した責任と放棄する無責任

過去の選択について、「投票した誰か」を責めることはできません。つまり、有権者が選択した責任は問われない社会であり、政治家も役人も含めた連帯責任です。

社会の一員であるかぎり責任は放棄できないのに、国政選挙ですら投票に行かない人が有権者の半数近くに及んでいます。少数によって選ばれた人に政治をさせることは危険です。

委任状を託すか、託されるか。

「託す人がいない」と真剣に考えて、26歳の私が出した結論は、「託される立場になる」という決意でした。託すか、託されるか、どちらも選ばない権利放棄は、下図のような政治に加担します。

議員の役割と行政の使命。

2007年1月15日、はじめて駅前に立つて「温故創新」を配りました。あれから8年が経ち、駅前・街頭での活動は1,000回を超え、多くの方々との出会いがありました。お母さんに連れられた園児は中学生になりました。通学する高校生はお母さんになりました。仲良くなった会社員の方は転職し、再び豊中に帰ってきました。8年もすると、私たちの暮らしは変化しますが、市役所はあまり変化しません。それはなぜでしょうか。私は託される立場になって、気が付いたことがあります。

朝起きたら顔が洗えるように、上下水道を整備・補修します。不法投棄が出ないように毎日回収し、焼却・リサイクルします。万が一に備え、消防・救急隊員は日夜訓練しています。

私たちの暮らしの「当たり前」を守ることこそ、行政の使命です。そして、議員は「当たり前」がマンネリ化しないよう、時代にあわせ、業務を効率化し、市民感覚で改善します。「当たり前」すぎて、目に見えないことが多いですが、役所も変化しています。豊中市の価値を高めるためには、マンネリ化してはいけません。目に見えないからと言って政治を忘れないでください。私はこれからも緊張感のある豊中市政にすることを約束します。

動画による情報配信をはじめています。ホームページ(<http://matsuoka-akimichi.net>)より、akimiChannelをご覧ください。

投票率を上げよう。

政治を変えるために訴えたいこと

多くの若者や利害関係のない19万人が政治に参加することで、将来に責任ある政治を実現できます。

投票率が低すぎる

前回の市議選投票率は39.3%
投票しなかった人は約19万人も

良く考えて投票しよう

マスコミが煽動する一時的な流行や、政党のイメージだけで投票すると... 党の意向を代弁するだけの政治家や、モラルに欠ける政治家が当選する。

組織票だけで当選する政治家

政党や圧力団体が集める組織票で
市議会が指定席になる。

組織のために政治を利用

一部の人たちに選ばれた議員が
一部の人のために利益誘導

緊張感のない政治家

選挙の時だけ駅前に立ち、
当選すれば姿は見えない

政治が腐敗する

投票に行く人だけの代表となり、
民意とかけ離れた政治になる

選挙に行って政治を振り向かせよう！まだまだ政治は変わります、みなさんの政治参加が必要です。

メールマガジンを発行しています。ご希望の方は office@matsuoka-akimichi.net までお知らせください。

財政非常事態を脱して。

目に見えなかった豊中市の改革

私が議員になった8年前、豊中市は財政非常事態を宣言していました。目の前の黒字化のためにその場しのぎの資金繰りが必要で、借金して退職金を支払ったり、外郭団体との会計処理がマスコミで批判されました。

資産の処分、職員定数や給与削減、職員の非正規化、事務事業の見直し、議員報酬の削減など、市民のみなさんには見えないところで、身を削る改革を進めました。私も金融機関にいた経験から、借入れ条件や事業の見直しを提案し、将来にわたる支払利息の低減など10億円以上を削減できました。

こうした努力は先述の「当たり前」を守りながら、実施されました。したがって時間はかかりましたが、市民のみなさんへの痛みは最小限でした。

目に見える豊中市の改革

豊中市の資産は少なく、職員も4割以上が非正規雇用となり、これから再構築が必要です。都市間競争が激しくなる中、財政は毎年一定額を積み立てる構造に転換すること、豊中市の魅力を内外にPRすることが、とても重要になってきます。

今こそ豊中の歴史・文化から学び、新しいブランドを創り、豊中らしさを打ち出すことが求められています。

ブログ、mixi、twitter(matsuokaakimichi)に加え、facebookでも情報発信中！みなさんのフォローをお願いします。

「市民」とは誰のことか。

豊中市に住民票があれば、豊中市民ですが、実際には色んな市民の方がいらっしゃると思います。例えば、先祖代々から豊中の地に住んでいて、この土地を離れられない方も、転勤族で一時的に住んでいる方も市民です。また、自治会役員などの地域の役割を担って下さる方も、選挙に行ったことがないと言う方も市民です。議員や公務員であっても市民です。さらに、住民票は豊中市にないけれども、豊中市に住んでいる方もいます。有権者のみなさんは、政治家が「どんな市民のために」働いているのか、しっかりと見抜いてください。

住民票に関わらず、行政サービスを無償で受けられると、納税に不公平感が生じますから、水道の使用料やゴミの有料化はやむをえません。しかし、図書館などは有料にすることができないので、「豊中市民で良かった」と思えるような取り組みが必要です。

人口減少社会において、豊中市が選ばれるためには、豊中市民であることを誇れるようなまちづくりが必要で、また、「ふるさと納税」などの取り組みが盛んに行われていますが、豊中市を離れても、豊中市民であったことが誇らしく思えるように、私は政治をしたいと考えています。

温故創新を受け取ってください。記事のリクエストがあれば教えてください。また受け取ってくださいね。

市民の方の声が形になる。

クリニックの窓口から

「豊中市の国民健康保険から発行される特定健診の受診票と受診券がわかりにくくて、紛失する患者さんが多くて困る」という声をいただきました。国民健保加入者である市民だけでなく、再発行請求の事務に携わるクリニックの窓口の方、市役所の担当課の職員にとっても課題でした。

さっそく担当課に「当たり前」の業務を改善するよう求めました。職員の方のアイデアで、粘着シールによる「受診券と受診票の一体化」が実現しました。これにより、家に届いたハガキをクリニックの窓口で提示するだけで、必要に応じて窓口で切り取るの、加入者が紛失したり、間違って持参することが少なくなりました。

国民健康保険加入者の市民だけでなく、こうして業務の効率化が向上することは市民全体にとってもプラスです。みなさんもお気づきのことや素朴な疑問など、お気軽にご相談ください。あなたの声が豊中市にとって、唯一無二の提言になるかもしれません。



学生の方に・・・社会勉強のために市議会に来ませんか？ 議会インターンシップ、子どもと関わるボランティアも募集しています。

※ご意見感想をお聞かせください。

TEL:06-7178-7785 (携帯転送)

FAX:06-6871-0632 (事務所)

Mail:office@matsuoka-akimichi.net

市議会控室：豊中市中桜塚3-1-1

※せっかくご連絡いただいても、ネット環境の不具合やFAXの印刷不鮮明などで、お返事できない方がいらっしゃいます。恐れ入りますが、一週間以内に返信がない場合、再度ご連絡いただければ幸いです。

※市議会会派：温故創新として編集、発行しており、お問い合わせは上記までお願いいたします。なお頒布にあたっては、政務活動費の一部を利用させていただきます。

【略歴】

市立 しんでん幼稚園
市立 南丘小学校
市立 第九中学校
府立 北野高等学校
同志社大学法学部政治学科
大阪府信連職員(JAバンク大阪)

【現在】

2007年 初当選
2011年 2期当選
2014年 建設水道常任委員会
空港問題調査特別委員会

【主なボランティア】

豊中ラグビースクール
豊中地区BBS会(更生保護活動)
豊中青年会議所
少年野球連盟サンマテオ親善交流



電話番号

住所

氏名

ふりがな

応援してくださいのミカタを募集中！



議員が提案して、職員の方々が動くだけでは、町が良くなることはありません。**せん。**むしろ公務員が動くよりも、市民の方は、効率的にスピード感をもって活動できるので、豊中市は「お金を出すだけ」「市有施設を貸与するだけ」のほうが良いこともあります。

市民公益活動推進助成金を受けて、豊中の子育て情報誌がフリーペーパーでつくられ、子育て世代には大好評でした。また、中心市街地活性化の補助金を利用して、蛍池ハロウィンバルが催されました。私もお手伝いさせていただきましたが、とても盛況でした。

市民の有志の方々が公益の目的のために活動してくださることで、豊中市の町の魅力は高まっています。活動の公益性が高ければ、賛同者が増え、補助金がなくても活動できるように経済的にも自立していきます。

新御堂筋沿道（新大阪駅～千里中央駅）で行われた災害時帰宅困難者体験訓練は、沿道の住民が主体となってスタートし、企業が協賛しています。豊中市、吹田市、淀川区が共催となり、大阪府の地域防災計画に帰宅困難者の支援が盛り込まれました。市民のみなさんの活動によつては、行政をも動かす力となります。みなさんも、何かで

市民全体のために働く。

美食家・魯山人ゆかりの地だから
一般的に「病院の食事は不味い」ですが、市立豊中病院では「食事が美味しい」と入院患者さんの間で有名です。入院しないと美味しい食事が食べられないのは市民全体のためにならず、業務の改善を求めました。そして、職員の方のご努力で「マチカネレシピ」として公開されました。現在、病院食（普通食、軟菜食、減塩食）のレシピが132種類、ホームページからご覧いただけます。退院後の食事や、健康のための食事として喜ばれています。

（普通食、軟菜食、減塩食）のレシピが132種類、ホームページからご覧いただけます。退院後の食事や、健康のための食事として喜ばれています。

航路直下の緑化事業をグラウンドに

航空機騒音被害の大きい地域に立退

きを求め、その跡地を緑化する事業が

国によって進められています。一方、

豊中市には芝生のグラウンドがなく、ス

たが、昨春に完成しました。こうした

国の緑化事業を市

民の要望にあわせ

るのも政治の仕事

です。スポーツをする人のためだけではなく、観るのが好きな人のために観覧席も設置し、市民全体のために働きます。



将来志向の政治と教育

人口減少社会だからこそ

人口減少社会ですから、1億2千万人で造った道路や上下水道などのインフラや施設を維持するのに、負担は大きくなります。したがって、統廃合や再編、縮小など、目を背けたい話が増えてきます。将来に責任を持つ世代として、しっかりと現実を直視し、包み隠さず、情報を共有して、将来志向で議論をしていきたいと思います。

豊中市は人口40万人をしばらく維持できそうですが、働く世代は減少していくので、財政的な明るい見通しはありません。行政の広域連携や市町村合併なども視野に入れて、税金を無駄にせず、市民の暮らしの「当たり前」を守っていきたいです。

将来への投資は惜しまない

若い世代が政治に関心をもって、將來の豊中市の姿を選択してもらわなければ、過去の繰り返しになります。

私は選挙備品の貸出を選挙管理委員会に提案・実現しました。学校の授業や生徒会選挙で利用されています。ま

た、姉妹都市サンマテオ市との国際交流を大切にし、学校の姉妹提携を進めています。インターネット会議やホームステイなどを実施します。



30 分早起きして、駅前で一緒に温故創新を配布してくださる方、どうぞよろしくお願いいたします。



※みなさんからいただくエールに励まされています！！

はじめまして。よく朝、千里中央で挨拶をしているのを見ます。私もしんでん幼稚園、9 中卒業なので親近感がありましたし、自ら出向いて挨拶をする姿に心をつたれていました。選挙前になると同じ政党のメンバーを引き連れてビラを配る方もおられますが、松岡さんはずっと前から地道に挨拶活動をしていて、豊中に真摯に向き合っている方だと思いました。それに、毎朝、挨拶をしてもらえてとても嬉しいです。誰かに挨拶してもらえる朝はとても気持ちがいいです。私は高校生で、まだ選挙権がないので人ごとみたいになってしまいますが、これからも豊中をよろしく願います。

テレアポが得意な方、日中にお時間がある方、マイクで話すのが好きな方など、個々にあったボランティアがあります。

スポーツ都市・音楽都市

スポーツ都市

豊中市は「高校野球、サッカー、ラグビー、アメリカンフットボール」の発祥地であり、甲子園、国立、花園の起源は豊中にあります。豊中市に所在する履正社高校の野球部、サッカー部、大商学園高校の女子サッカー部は全国レベルです。また、箕面自由学園高校、梅花高校のチアリーディングは日本屈指のレベルですし、人気のストリートダンスなど、新しいスポーツの普及にも努めています。

豊中市には、柔道場、弓道場など施設も整っていますので、日本の伝統武道にも裾野を広げていきたいです。

音楽都市

大阪音楽大学があるおかげで、市内には音楽の指導者が恵まれており、オペラハウスや音楽博物館を利用することができます。また、日本センチュリー交響楽団の本拠地であることをまちづくり活かし、とよなか音楽月間を拡充し、子どもたちには「空気を読むより、譜面を読んで育つてほしい」と思います。私自身も下手の横好きで合唱をさせていただいています。

スポーツや音楽を通じて、子どもの健全育成を果たし、市民の健康増進、若者が集う活気あるまちづくりを進めていきます。

緑と水の環境都市

緑の都、豊中市

豊中市歌には「緑の都、豊中市」という歌詞があります。今は見る影もありませんが、100%市街化地域である豊中市にとって、緑の憩いの空間を確保することは、重要なことです。

緑の都を取り戻すため、校庭や屋上、壁面の緑化を進めます。また、荒れている緑地帯を整備し、身近なところに癒しの空間を創出します。「玉かつま島熊山の夕暮れにひとりか君が山道越ゆるむ」万葉集にも登場する島熊山をPRしていきたいです。また、府の準絶滅危惧種にも指定されているヒメボタル生息地の保全を図ります。

世界に誇る下水道

朝起きたら顔が洗える、のどが渴けば水が飲める。そんな「当たり前」を守り、暮らしの安心を守るため、上下水道管の長寿命化、ゲリラ豪雨による浸水対策に取り組めます。

豊中市は蛍の人工飼育先駆けの町であり、下水処理水を利用した蛍ドームで、蛍の放流が行われています。

汚泥から発生するメタンガスの売却を提案・実現し、20年間で約4億円の歳入確保の見込みです。小水力による発電など持続可能な循環社会を実現し、緑と水をテーマに環境政策を進め、住環境の向上を目指します。

教育文化都市

学校教育の充実

幼保小、小中、中高の連携を強化し、教育・子育てに力を入れて取り組みます。児童生徒の減少にともなう小・中学校の再編にあたり、豊中市にはかつて市立高校がありましたので、高校教育への参入も検討すべきと考えています。0歳から18歳までの子どもの成長を豊中市が責任をもって支えられるように努めます。

豊中市は「公文式の発展の地」です。創業者・公文公（とおる）氏の記念館が豊中市にあり、ご本人も教鞭をとられていたそうです。今や世界に広がる学習塾ですが、豊中市の子どもたちの学力向上において、緑の下の方持ちであつただろうと思います。官民の垣根を超えた総合力で、豊中の学校教育を充実していきたいと思っています。

社会教育の拡充

黒田官兵衛を救出するために織田信長が築いた刀根山城の史実や国の天然記念物となるマチカネワニ化石、空港の下に眠る勝部遺跡、庄内式土器、上新田のとんど祭など、有形無形の文化財にもスポットをあて、豊中市のブランドを社会教育に役立てていきたいです。



文化の花を咲かせよう

豊中市歌には「文化の花もさきにおう」と歌詞があります。豊中市は手塚治虫氏の生誕地であり、北大路魯山人氏が大阪星岡茶寮を開いた町でもあり、三島由紀夫氏の『愛の渇き』の舞台にもなっています。初代市議会議長は東洋初の人型ロボットを発明した西村真琴氏です。こうした史実を活かし、漫画や美食、芸術、科学を通じて、町がにぎわう工夫をします。

イオンの源流の一つは豊中にあったスーパー・シロです。また、庄内ダイエーは日本初のショッピンングセンターとなり、スーパーのライフ、コンビニのローソンは豊中に一号店を出店し、全国へ展開しました。豊中市民の消費行動は最先端であり、「もったいない」文化を広げていきたいです。

また、救命力世界一宣言に象徴される、毎年2万人が救命講習を受ける市民文化を大切にします。

豊中は一日に一つ必ず。

※議会改革 今後は現在36名の議員定数を段階的に20名まで削減し、より実のある議論ができる議会になる必要があります。ただし、議員の調査研究と立法能力を向上するため、議員一人に秘書を一人つけることを条件として提案してきました。

※国政課題 ①北緑丘の自衛隊跡地売却 ②豊南町の日満電気跡地利用 ③庄内、服部、蛍池駅の高架化 ④東京五輪にあわせた大阪国際空港の活用を抱えています。

※交通課題 豊中市中部地域における東西交通は調査研究に入りました。